

(別記)

## 令和2年度矢祭町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町の水稲栽培は、生産調整、農業者の高齢化、後継者不足等により耕作面積は年々減少しているが、農家においては基幹作物として位置付けられており、兼業化が進んでも稲作だけは継続する農業後継者が多いことや、農業経営上でも農家収入に占める割合が高いことから、農業所得の安定を図るためにも重要な作物である。

また、転作作物として施設園芸も取組まれており、特にイチゴ、きゅうり、花きについては市場で好評を得ており、農業収入の安定が図られているが、そうした農家は少数で、農業経営基盤の確立が急務となっている。

さらには、農家の大半は小規模な第二種兼業農家や従事者が高齢な専業農家であり、自家消費や縁故米、自家消費野菜などの作付けが多いため、新規需要米や麦、大豆、飼料作物等の戦略作物の作付けがなかなか定着・拡大しない傾向にある。

このような状況を克服するため、品目ごとに価格・販売動向等を踏まえながら需要に応じた計画的な生産を推進するとともに、米の作付けを行わない水田を有効に活用して、戦略作物（麦、大豆・飼料作物等）と非主食米、施設園芸作物（イチゴ、きゅうり、トマト、花き等）の栽培を推進し、品質・生産性の向上を図りながら、安定した農業経営の構築を支援推進する必要がある。

### 2 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

本町の稲作は、生産調整、農業者の高齢化、後継者不足等により年々耕作面積が減少してきたが、現在も基幹作物として位置づけられており、兼業化が進んでも稲作だけは継続する農業後継者が多い。

ゆえに農業経営上農家収入に占める割合が高いことから、収入安定を図る観点からも重要な農作物である。

しかしながら、農業就労者が高齢・婦女子化してきていることから、今後は省力、低コストで栽培できる直播栽培等を積極的に導入するとともに、米の需要に対応した計画的な生産を基本に非主食用米の作付けを推進するなど、担い手を中心に一層の計画的な農業経営が図られるよう引き続き支援を行う。

#### (2) 非主食用米

##### ア 飼料用米

農業就労者の高齢化等により、耕作を移譲された水稲を主たる営農にしている担い手農業者が、取組みやすい営農として認識しているため、年々作付けが増加している。

主食用米に換わる主たる作物に位置づけし、更なる推進をするとともに、産地交付金を活用して多収品種の導入、直播栽培、生産地の団地化、不作付け地への作付け等を推進し、生産性向上や収量増に向けた栽培方法を導入し、農業経営の低コスト化への支援を通じて経営の安定を図る。

##### イ 米粉用米

該当なし。

## ウ 新市場開拓用米

該当なし。

## エ WCS 用稲

主食用米に換わる主たる作物に位置づけし、更なる推進を図るため、産地交付金を活用し、多収品種の導入や耕畜連携の取組みを推進するとともに、団地化や直播栽培の導入など生産向上や収量増に向けた栽培方法の導入など、農業経営の低コスト化への支援を通じて、経営者の所得確保が図られるよう推進を図る。

## オ 加工用米

該当なし。

## カ 備蓄米

主食用米と同じ生産ができる作物として作付けを推進していく。

## (3) 麦、大豆、飼料作物

麦については、土地利用型作物の基幹作物として、数年後においても現行の作付面積を維持する。

大豆については、収穫機械の効率的な使用によるコスト削減などのために団地化への取組みを推進していく。

また、実需者ニーズに沿った生産体制を構築するとともに、生産物の付加価値を高めるための加工販売を促進するため多様な販売（流通）体制の構築、安定的な経営及び取組みの推進を図る。

飼料作物については、需要の関係から現状の面積を維持する。

## (4) そば、なたね

近年、そばの栽培面積は増加の一途をたどっているが、価格の急落、刈取料金の高騰と相まって、収益は減少傾向にある。

今後は、地域の実需者との契約に基づき現行の作付面積を維持しつつ、販路拡大と付加価値を付けた製品開発などを推進し、産地交付金を活用した排水対策による品質の向上に取組み、安定的な経営及び取組推進を図る。

なたねについては該当なし。

## (5) 高収益作物（園芸作物等）

### ①野菜

矢祭町は冬期の気候が温暖で降雪量が少ないことから、野菜の栽培に適している。

特に、きゅうり、トマト、いちご、シイタケについては、ハウス栽培が盛んに行われており、温暖な気候であることから、加温のための燃料費が少なく済み、高収益をあげている。

今後も産地交付金による支援を行いつつ、販路の拡大や新技術の導入、団地化の推進など生産性の向上を推進する。

### ②果樹

矢祭町の温暖な気候を利用したブルーベリー、ブドウなどの栽培が増えつつある。

特にブルーベリーは6次化商品の開発などによる需要の増加が見込まれることから、産地交付金による支援を行いつつ、面積拡大の取組みを推進する。

### ③花き

矢祭町は冬期の気候が温暖で降雪量が、花きの栽培に適している。

特にハウス栽培によるカーネーションなどは高収益をあげている。

今後も産地交付金による支援を行いつつ、販路の拡大や新技術の導入、団地化の推進など生産性の向上を推進する。

### ④雑穀

小豆、えごまなど雑穀については高収益が見込める作物であることから、引き続き産地交付金による支援を行いつつ、面積拡大の取組みを推進する。

## (6) 畑地化の推進

該当なし。

## 3 作物ごとの作付予定面積

| 作物        | 前年度の作付面積<br>(ha) | 当年度の作付予定面積<br>(ha) | R2年度の作付目標面積<br>(ha) |
|-----------|------------------|--------------------|---------------------|
| 主食用米      | 294.51           | 294.51             | 294.51              |
| 飼料用米      | 41.6             | 42                 | 42                  |
| 米粉用米      | 0.00             | 0.00               | 0.00                |
| 新市場開拓用米   | 0.00             | 0.00               | 0.00                |
| WCS用稲     | 6.87             | 8.0                | 8.0                 |
| 加工用米      | 0.00             | 0.00               | 0.00                |
| 備蓄米       | 3.80             | 3.80               | 3.80                |
| 麦         | 0.00             | 0.00               | 0.00                |
| 大豆        | 0.30             | 0.30               | 0.30                |
| 飼料作物      | 3.10             | 3.10               | 3.10                |
| そば        | 3.05             | 3.05               | 3.05                |
| なたね       | 0.00             | 0.00               | 0.00                |
| その他地域振興作物 | 7.93             | 8.74               | 9.23                |
| 野菜        | 6.57             | 7.38               | 7.38                |
| ・いちご      | 4.79             | 4.79               | 4.79                |
| ・きゅうり     | 0.31             | 0.50               | 0.50                |
| ・トマト      | 0.53             | 0.83               | 0.83                |
| ・しいたけ     | 0.18             | 0.50               | 0.50                |
| ・その他野菜    | 0.76             | 0.76               | 0.76                |
| 花き        | 0.66             | 0.66               | 0.85                |
| 果樹        | 0.00             | 0.00               | 0.00                |
| その他       | 0.70             | 0.70               | 1.00                |

#### 4 課題解決に向けた取組及び目標

| 整理<br>番号 | 対象作物                        | 使途名            | 目標                                                     | 前年度（実績）                                                          | 目標値                                                                |
|----------|-----------------------------|----------------|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
|          |                             |                |                                                        |                                                                  |                                                                    |
| 1        | 地域振興作物<br>野菜（基幹作物）          | 地域振興作物助成       | 地域振興作物の<br>作付面積                                        | (R1 年度) 5.65ha                                                   | (R2 年度) 6.86ha                                                     |
| 1        | 地域振興作物<br>花き（基幹作物）          | 地域振興作物助成       | 地域振興作物の<br>作付面積                                        | (R1 年度) 0.66ha                                                   | (R2 年度) 0.85ha                                                     |
| 1        | 地域振興作物<br>その他（基幹作物）         | 地域振興作物助成       | 地域振興作物の<br>作付面積                                        | (R1 年度) 0.70ha                                                   | (R2 年度) 1.00ha                                                     |
| 2        | 飼料用米<br>（基幹作物）              | 新規需要米助成        | 取組面積<br>10 a あたりの収量<br>60kg 当たりの生産<br>費                | (R1 年度) 33ha<br>(R1 年度) 427kg/10a<br>(R1 年度)<br>6,000 円/60ka     | (R2 年度) 42ha<br>(R2 年度) 485kg/10a<br>(R2 年度)<br>5,500 円/60ka       |
| 2        | WCS 用稲<br>（基幹作物）            | 新規需要米助成        | 取組面積<br>10 a あたりの収量<br>60kg 当たりの生産<br>費                | (R1 年度) 5ha<br>(R1 年度)<br>2,722kg/10a<br>(R1 年度)<br>6,000 円/60ka | (R2 年度) 8.0ha<br>(R2 年度)<br>3,500kg/10a<br>(R2 年度)<br>5,500 円/60ka |
| 3        | 飼料用米の生産ほ<br>場の稲わら<br>（基幹作物） | わら利用<br>（耕畜連携） | 飼料用米の稲わらの<br>取組面積                                      | (R1 年度) 24.19ha                                                  | (R2 年度) 28.5ha                                                     |
| 4        | 粗飼料作物<br>（基幹作物）             | 資源循環<br>（耕畜連携） | 資源循環の取組面積                                              | (R1 年度) 1.11ha                                                   | (R2 年度) 2.37ha                                                     |
| 4        | WCS 用稲<br>（基幹作物）            | 資源循環<br>（耕畜連携） | 資源循環の取組面積                                              | (R1 年度) 0.00ha                                                   | (R2 年度) 0.50ha                                                     |
| 5        | 粗飼料作物<br>（二毛作）              | 二毛作助成          | 二毛作の取組面積<br>戦略作物（基幹作物）<br>作付面積のうち、二<br>毛作に取組んでいる<br>割合 | (R1 年度) 0.40ha<br>(R1 年度) 4%                                     | (R2 年度) 2.00ha<br>(R2 年度) 18%                                      |

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

#### 5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり